

謹 弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

中 西 敬 氏 宇部市医師会 4月1日 享年 93

編集後記

今月号の講演概要を紹介する中に「医療者のためのLGBTQの基礎知識」がある。

これは、3月3日の男女共同参画部会の基調講演で、LGBT支援に取り組んでいる弁護士の鈴木朋絵先生が話されたものをまとめられたものであり、とても分かりやすく話されているので医師会員の方は是非、ご一読願いたい内容である。

というのも私自身、この講演と座談会に出席して、これまでこうしたことを見聞きしたことはあっても、自分自身で考えたことがほとんど無かったことに気づき・・・反省させられたからである。

この講演の後、改めて意識してみると、テレビドラマでは「おっさんずラブ」「作りたい女と食べたい女」「おっさんのパンツがなんだっていいじゃないか」など、このテーマを含んでいるように思える。

また、山口県でも昨年5月には、初めて「山口レインボープライド」のパレードが行われ、多くの方が性の多様性を象徴する虹色の旗を持って「みんなちがって、みんないい」と書かれた横断幕などを掲げながら、多様性を認める社会の大切さを訴えていたのも記憶に新しい。

県庁でも「パートナーシップ宣誓制度」を今年の9月から施行することになり、宣誓書を提出して認められると受領証の交付とともに、公営住宅への入居や病院での家族面会が可能になるよう県として働きかけていくという。

このように周りでは啓発を促す動きが多くみられるのであるが、意識していないと見過ごしてしまうのである。特に、鈴木先生の講演の中では、医療関係者に安心して話せないという当事者の方は81.3%もいるという。民間や自治体の調査では性的マイノリティの方は5～10%の割合でおられるという報告もあることから、私たちの周りでも差別などを恐れて周囲に伝えることができずにいる方が多くいると思われる。

私たち医療者もこうした状況を意識しながら診療にあたっていく必要があると改めて考えさせられた講演であった。

※6月29日に山口市中心部において昨年につき「レインボーパレード」が行われる予定。

(理事 岡 紳爾)